

7月度生涯研修講座抄録

歯・口腔の健康に矯正歯科はどのように貢献できるか

小椋幹記 (社会医療法人敬和会大分岡病院 口腔顎顔面外科・矯正歯科 矯正歯科部長)

歯・口腔の健康は、健康増進のために取り組むべきこととして認識がますます高まっている(国)

民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針、2012。歯・口腔の健康とは、う蝕や歯周病などの疾患がないだけでなく、口腔機能が十分に発揮されている状態を意味している(歯科口腔保健の推進に関する基本的事項、2012)。このために、長期の口腔顎顔面の成長発育及び適切な口腔機能の獲得が重要とされている。一方、矯正歯科は、咬合の形態的、機能的な変異とそれによる障害に対して、口腔顎顔面の正常な発育を促し、あるいは咬合の形態を整えることによりその障害を回避、軽減することを目的とする臨床歯科の一分野である。歯・口腔の健康(行事案内に詳細)

「輸血は日本酒で」。周囲にそう言うてはばからない無類の日本酒好き。手帳にはお気に入り杜氏のサインを忍ばせるほど。 「米だけでなく、水や麴の違いを追い求めるうち、銘柄が同じでも杜氏が変われば味も変わることに気づいたんです。別の蔵元に移った杜氏を追いかけて訪ねることもありますよ」



活がたたり、「30歳を過ぎると尿酸値が爆発した」と。健康を気遣い、焼酎に切り替えて5年ほど経った時、「出会い」を訪れた。足を踏み入れた老舗酒屋併設の飲食スペースでおすめの地酒を出してもらった。「口に含んだ瞬間、焼酎とは違う繊細な味が心に残りました。濾過も加熱処理もしていない生原酒は格別で、米の甘味が口に広がり、香りが立つ。フルーティーさがあり、ジュシーさがあります」と熱っぽく話す。日本酒一筋の人生がス

日本酒に恋して

平尾清司さん (港区)

会員 フォーカス

スタートして20年。数百銘柄飲んできたなかで、忘れられない一本がある。「東洋美人」。山口県萩市の登川酒造の銘柄だ。「口当たりは軽やかだが奥深い。黒髪の優しい美女を彷彿させる味わい」と話し、「言うなれば女優の真行寺君枝さんのようなイメージかな」と照れながら振り返る。片思いの恋ははかない。ほどなくして蔵元が2013年の豪雨災害で壊滅的な被害を受けた。数カ月後に再建したものの、「味が変わって...もう一生飲めないのか」と悲しみに暮れた。



秘蔵の日本酒コレクションから一人で泣いているわけ。周りは客からは『何やコイツ』と不審に思われたであろうね。聞けば店主の妻の故郷が山口で、被災前の在庫を入手したお宝だった。今は週に1回新たな出会いを求めて飲み歩く日々。旅先では必ず蔵元をチェックする。酒量は抑えても、探求心は尽きない。「そうは言っても夏場はビールも飲むのでは?」とそっと尋ねると、いたすらっぽく笑ってこう答えた。「宗教上の理由」で飲みません」

談話室 たんわ室



明治150年に想う

門奈丈石 (平野区)

明治50年。歴史への反省と問題解決を後回しにしたまま「明治150年」を祝うことはできない。明治22年、日本初となる「大日本帝国憲法」が公布された。憲法では、国民は「臣民」であり、統治の対象とされた。そして、憲法発布の翌年に出された「教育勅語」では、戦争になれば「身を天皇陛下に捧げる」のが最高の美徳であると教えただけだ。明治憲法の下、帝国主義に目覚めた日本は富国強兵を国是とし、戦いに明け暮れた。戦争による領土拡張なくして、昭和の敗戦はなかった。先の大戦で、戦争のむごさ悲慘さを、身をもって体験した国民は、「もう戦争はこりごりだ」と心の底から平和を願い誕生したのが「日本国憲法」だ。武器を捨て戦争はしないと決めた平和憲法の国だからこそ、戦後73年、今も続く平和があるのだ。「あなたを攻めません」といえる相手は安心するだろう。逆に、軍備を増強し、演習を繰り返せば相手も身構えることになる。「力」により作られた平和は、見せかけの平和であり、遺恨に満ちた休戦ではない。真の平和は面倒でも話し合うしかないのだ。それには、9条に勝るものはない。日本国憲法第9条を大切に、これからも不戦平和の国として歩み続けたものだ。

物件案内

居抜き物件 【住所】大阪市東成区 【最寄駅】地下鉄中央線「緑橋」駅 【金額】応相談 【条件】テナント物件のため、別途賃貸契約必要 【設備】チェア2台、パノラマ1台、デンタル2台、歯科機材付 【面積】25坪 【連絡先】Tel.06-6566-8773 (1) (新聞部事務局) 物件やサイクル情報の掲載をご希望の方は、新聞部事務局まで。掲載は会員限定。内容の確認や条件などの交渉は当事者間でお願いします。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

7月度生涯研修 歯・口腔の健康に矯正歯科はどのように貢献できるか 大阪市内会場 日時 7月21日(土) 午後6時30分〜8時30分 講師 大西祐一氏(大阪歯科大学歯学部歯学科学准教授) 会場 エル・おおさか 2階エル・シアター(地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅徒歩5分) 会費 千円 定員 700人

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です ※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。